

「伊方地域の緊急時対応」の一層の 具体化・充実化に向けた検討事項

○一時集結所までの順路における避難円滑化対策

- ・ P A Z 及び予防避難エリアにおける避難経路及び、道路の状況を踏まえた町内移動用車両サイズ的具体化

○道路混雑把握・渋滞緩和策

- ・ 県警ヘリ映像を用いて道路状況を把握し、避難誘導・交通規制を実施

○原子力総合防災訓練で運用した実施方針を踏まえた対応

- ・ 原子力総合防災訓練を通じて作成・検証した予防避難エリア（ケース 2）の緊急時対応への反映

○放射線防護施設の充実化

- ・ 放射線防護対策施設の追加整備（旧佐田岬小学校、嘉島小学校）

○ U P Z 市町における避難経路の明確化

- ・ U P Z 市町における避難経路の明確化

○状況に応じた愛媛県内への海路避難

- ・ 施設敷地緊急事態における愛媛県内への海路避難及び、全面緊急事態において大分県への避難が困難な場合における愛媛県内への海路避難の明確化

○伊方町ワークショップ結果の反映

- ・ 伊方町内全 55 地区でワークショップを開催。全地区において原子力災害時の避難計画を策定し、地域住民の共助による避難支援体制を整備

○住民への情報伝達手段

- ・ ツイッターやフェイスブックによる情報伝達、スマートフォンアプリ機能の追加

○物資の供給体制の充実化及び一時集結拠点の明確化

- ・ 民間物資拠点の活用及び物流専門家の派遣
- ・ 物資及び放射線防護資器材の一時集結拠点の明確化

○緊急時モニタリングの充実化

- ・ 電子線量計の増設(58 基)に伴う一時移転の実施範囲の対応付けの見直し

○ゼリー状安定ヨウ素剤

- ・ ゼリー状安定ヨウ素剤の備蓄及び配布について検討